

「南部っ子」はすべてに元気印!



● 南部小学校 ●
全校児童 106 人

■ 問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

南部っ子、106人の合言葉は「み・な・み」です。

めざす子ども像

- み 自ら学び子 (知)
- な 仲良くする子 (徳)
- み みんな元気な子 (体)



学校のシンボルマーク
みなみちゃん

子どもたちは、この合言葉どおり、何事に対しても一生懸命に挑戦します。論語にある「恕」の心を發揮し、上級生から下級生まで、みんななかよしです。子どもたちのがんばりに負けないように、教員19人、保護者のみなさんや地域と連携し、21世紀をたくましく生きる南部っ子の育成を目指しています。



特色① 伝え合う力を育む授業

子どもたちの伝え合う力の育成に取り組んでいます。授業には、必ず「話す・聞く・話し合う」活動を取り入れ、週2回スピーチタイムを実施しています。スピーチタイムでは、代表の子どもたちの発表に対して、みんなの思いを伝え合います。
(写真は、2年生のスピーチタイムの様子)



特色② 『論語』や地域の特色を学習

『恕、仁』等をはじめ、孔子の教え「論語」の学習を続けています。毎日、校長室で論語を詠む子どもたちの声が響きます。また、月1回の全校集会(ひまわり集会)では、多久の特産物、歴史や文化等を学び、ふるさと多久の良さを発見する活動を続けています。
(写真は、ひまわり集会で南多久の名所を紹介する6年生)



特色③ あいさつ名人

南部小学校の校門前には、白線が引いてあります。子どもたちは、毎朝、この白線の前で立ち止まり「今日も一日よろしくお願ひします」という気持ちを込めて、校舎に向かって一礼をします。日常でも、あいさつ名人を目指し、元気な声が響き渡ります。横断歩道を渡る時にも、止まって頂いた車に一礼します。論語にある『礼』の気持ちを体現できる子どもが育っています。
(写真は、22年度卒業生の卒業記念制作)

10月の定例教育委員会は14日金

時間 13時30分

場所 市役所2階 第3委員会室 (傍聴は自由です)

問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-13450



▲大阪大学名誉教授の末永敏和先生 (写真奥中央)

『ふるさとの先輩に学ぶ』
8月21日、市役所4階大会議室で、『多久市教育講演会』を開きました。前半は「多久市の特色を生かした教育実践」をテーマに、『多久学』における多久市の偉人(志田林三郎)学習(緑が丘小、金丸ゆか教諭)と電子黒板を活用した授業づくり(西深中、立川栄教諭)についての実践発表を行いました。後半は多久町出身で大阪大学名誉教授・末永敏和先生の『ふるさとの先輩に学ぶ』という講演で、「他人の役に立つ人間になることがこれからの日本の社会には必要だ」と話されました。

多久市教育講演会

任意整理・過払金返還請求!

消費者金融等と約10年以上の取引がある方・
消費者金融等の借金を完済した方は



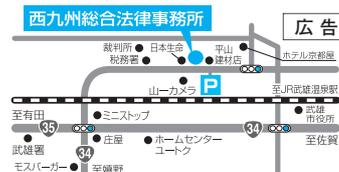
西九州総合法律事務所
佐賀県弁護士会所属
弁護士 福田 大志

相談無料
秘密厳守

完済した方は自己負担金ゼロ!

取り戻した過払金の中から成功報酬をいただくのみです。詳しくはお電話、またはブログをご覧ください。

<http://fukuda-hiroshi.seesaa.net/>



要電話予約 ☎0954-27-8056

受付/ (月~金) 9:00~12:00 13:00~18:00
佐賀県佐賀市佐賀町大字佐賀5650-26